

「ゆっくりはっきり話しましょう」

早いもので1年が終わろうとしています。暑かった夏から秋になり、寒い季節になりました。いろいろな感染症が流行る時期です。手洗い、うがい、消毒、マスクの着用などの感染症対策を続けていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行により、いろいろな生活の変化がありました。その中で日常生活でのマスク着用があります。マスクを着用することで良かったことは、新型コロナウイルス感染症だけではなく、インフルエンザや風邪などの感染予防につながったことです。その反面、マスクで顔や口元が隠れるので「相手の表情が分からない」「相手の言葉がはっきりと聞こえない」という困ったことがあります。

特に小さな子どもは耳で聞くだけでなく、唇の開け方や舌の動きを見て言葉を覚えるので、口元が隠れていると正しい言葉が分かりにくい状況になってしまいます。また、マスクで顔が隠れることで、相手の表情が分からず、怒っているのか、笑っているのか区別がつかないこともあるようです。

「目は口ほどにものをいう」ということわざがあります。マスクをしていても子どもと目と目を合わせてアイコンタクトを取り、優しく微笑むことで気持ちを表現しましょう。特にマスクをしている時は、ゆっくりとはっきりと話すことを心掛けましょう。

うめっこテラス（子育て世代包括支援センター）